

「親」が幸せであるために… (本の紹介)

黒川伊保子さん プロフィール

- 株式会社 感性リサーチ 代表取締役社長
- 人工知能研究者、随筆家
- 日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員
- 専門領域：人工知能(自然言語解析、ブレイン・サイバネティクス)、コミュニケーション・サイエンス、ネーミング分析

人工知能エンジニアとして自然言語解析の現場に早くから従事し、1991年には、当時の大型機では世界初と言われたコンピュータの日本語対話に成功。このとき、対話文脈に男女の違いがあることを発見。やがて、男女で「とっさに使う脳神経回路」の初期設定に大きな違いがあることをつきとめる。

『恋愛脳』『夫婦脳』など脳科学本を経て、2018年には『妻のトリセツ』がベストセラーに。以後、数多くのトリセツシリーズを出版。2020年秋には、コロナ禍の家族を救うために、家族のトリセツシリーズをコンプリート(「妻のトリセツ」「夫のトリセツ」「娘のトリセツ」「息子のトリセツ」「家族のトリセツ」)。

公式ホームページ「黒川伊保子オフィシャルサイト」(<http://ihoko.com/>)より

私が以前勤めていた中学校に、黒川さんの息子さんが通っていた関係で、当時珍しかった脳科学の話しを学校でもPTAの講座などでお話ししていただいたことがあります。

男と女の脳の違いから生じる問題について、大変わかりやすい分析と、摩擦を極力少なくする工夫を紹介しています。本には、基本的に同じ事が書かれていますので、どれを読んでも同じですが、現代の夫婦必読のものと思っています。(体験談！)

私は、最近結婚する若い人たちに必ず右の本をプレゼントしています。(夫側に渡しますが、妻側が喜んでます。)



←今はこれを読んでいます、男女を問わず、仕事上の問題にも、大変深い示唆を与えてくれました。